

# 発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目/全 2 枚)

氏 名 辰 川 志 郎

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)		<p>エアモビリティ産業創出事業について            先端ヒト飛行技術に関する連携協定について            令和6年2月14日に「最先端のヒト飛行技術を用いた空の新産業創出および地方創生に向けた包括連携協定」を e m b l e m (エンブレム) 株式会社と締結しているが、現時点における同社との連携協定による成果を示せ。            また、同社に対する支援等の状況についても併せて示せ。</p>	
	(2)		<p>空飛ぶクルマやドローンについて            「空の産業集積」として、空飛ぶクルマやドローン関連事業者が研究・開発・実験等を実施することができる環境を整備するということであったが、現在、どのような事業者が、エアモビリティ産業創出事業に参画しているのか。事業内容、進捗状況、支援内容と費用について示せ。</p>	
2			<p>次世代型産業パーク整備準備事業について            本年6月定例会での答弁では、候補地について高尾町地内の農地に決定したものの整備内容などは定まっていないとのことであった。その後、どのような企業を誘致するのか。            また、今後の整備について、面積、区画数、工事費、売却価格、整備期間など具体的に示したものを示せ。</p>	
3			<p>片山津 I C 産業団地第 2 工区拡張整備事業について            片山津 I C 産業団地第 1 工区の整備、売却の見通しが立ったことから、第 2 工区において、令和 8 年度は 8. 6 ヘクタールの造成工事に着手する計画が示されている。            第 2 工区の総面積約 23 ヘクタールは、これまでに整備し、売却済みの区画と第 1 工区分とを合計した面積よりも広くなる。これだけの規模で整備する必要があるのか疑問である。今後の見通しについて示せ。</p>	
4			<p>未来型商業エリアについて            現在、未来型商業エリアの開発事業者と地権者との用地契約は進展していないようだが、契約は完了できる見込みであるのか。            また、本年6月定例会で質問した未来型商業エリアの開発について、アクセス向上と周辺道路の円滑な交通のため、令和 10 年度までに市道 C 第 583 号線ほか、周辺道路の整備事業として総事業費 21 億円の概算費用が計上されており、本年度分として測量設計業務委託費 1 億 2000 万円、用地補償費 8000 万円が計上されているが、これらの予算については、開発事業者の用地契約が済んでからでも遅くはないと考えるが、所見を問う。</p>	

# 発 言 通 告 書 要 旨 （2枚目／全2枚）

氏 名 辰川 志郎

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
5	(1)		<p>物価高騰対応水道料金基本料金免除事業について 免除の内容について</p> <p>物価高騰の影響を受ける市民の生活支援のため、水道料金の基本料金を令和7年12月から令和8年2月までの3か月間免除するとのことである。石川県においても令和8年2月、3月の水道基本料金を免除するとのことであるが、既に減額を行っている加賀市ではどのようなになるのか。</p>	
	(2)		<p>水道料金を免除することについて</p> <p>物価高騰対策については、様々な方法が考えられると思うが、なぜ家庭用水道料金の免除を行うこととしたのか。</p>	